

報告

平成21年度事業報告及び、平成22年度事業計画

去る2月18日 場所：フォレスト本郷内 ルヴェ ソン ヴェール本郷にて平成22年度通常総会が開催された。出席正会員27名、委任状14名で議決数は規定を超え成立、各議案が報告、審議され、承認された。本年度は理事改選の年に当たり、瀧澤、堀井両理事のご逝去に伴う補充とともに新理事が選任された。（報告本文参照）総会終了後、阿部市郎、米田雅子氏の講演があり、その後、同会場にて懇親会が開かれた。内田祥哉先生もお元気なお姿を見せられ、久しぶりのお声を聞く事ができ、和やかに散会した。（総会、懇親会の模様は表紙写真参照。）審議、承認された議案は以下の通り（編集）

第1号議案 平成21年度事業報告及び収支決算（紙面の都合上、収支決算掲載省略）

1. 事業の成果

平成21年度の事業計画に基づいて事業を展開し、相応の成果を上げることが出来た。

1) 事業内容

特定非営利活動に係る事業を対象とし、平成20年度事業計画に基づいて次項に示す事業を実施した。

2) 実施体制

① 正会員73名、賛助会員42名、顧問1名（平成21年12月31日現在）

② 組織：建築部会、戸建住宅部会・タウハウス研究会、集合住宅部会、住宅技術部、マンション管理組合支援事業部のほか自主研究部会（歴史的建築研究会、LLB技術研究会、新分野進出研究会）、経営分科会、広報委員会、事務局

2. 事業の実施に関する事項

2-1 事業活動記録（4、5ページ表参照）

第2号議案 平成21年度事業計画及び収支予算（紙面の都合上、収支予算掲載省略）

1. 事業の方針

平成不況といわれて久しいが、建設業関連の業況は極めて厳しいものがある。しかしながら、既存建築物の耐震・長期修繕計画等は低炭素社会の実現方策とあいまって、不況の中でますます注目されつつある。

当協会としても、21年度はマンション管理組合支援事業が今ひとつ伸びを欠き当初計画を下回ったが、戸建住宅部会関連では補助金によるタウンハウス調査或いは地方住宅供給事業者振興等に関連した調査及び体制整備等に関する事業は進展することが出来た。更に長年、住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）の後援をうけて実施している「ホームビルダー住宅技術セミナー」を再編して、緊急性の高い地盤・基礎・木構造等にしばって実施した。また、建築部会においては話題性のある建築物の建設現

場やゼネコンの研究所見学会等の実施や新寺子屋サーツの開催等を行った。

平成22年度においては、マンション管理組合支援事業は事業部の体制整備とそれによる業務の円滑なる推進を行うことが必要であり、これらの課題に対処して時代の要請に応えることが出来る機動力のある体制とすることが課題である。

戸建住宅部会においては引き続き緊急性の高いテーマにしばってセミナーを計画してホームビルダーに対する情報発信を行うと共に、2年に渉る首都圏関西圏タウンハウス調査のまとめの年として、中長期修繕計画の策定と修繕方法のマニュアル化等を計画し、管理組合に対してリーチアウトが行えるようにタウンハウス研究会の活動を積極化し、これの水平展開が図れるような方策を推進することとする。

建築部会においては新寺子屋サーツの推進と共に、建築界の良心として喫緊のテーマを取り上げてシンポジウムの開催実施を計画検討する。

最後に、サーツ設立12年を経て執行部の高齢化が進み、これを刷新することが大きな課題であることを改めて認識しなければならない。設立以来、献身的に会の活動を推進してこられた瀧澤清治理事（戸建住宅部会長）が昨年10月26日に、また、年が明けて1月12日には会の組織運営に貢献された堀井秀治理事（組織規定委員長）が逝去されました。最近、理事や事務局の中に体調不良で業務の継続が困難になった方が複数出ていることもあり、体制刷新はこれ以上先延ばしが出来ない状況にある。この通常総会において理事の改選が行われるのを機に、新執行部を構築しなければならないと考える。

2. 事業計画

1) 建築部会

○ 教育普及事業

・ 寺子屋サーツ：寺子屋方式の少人数の建築技術に関する話題等のアフター5ゼミ、ホームページで一般市民・

建築技術者へ公募（1 / 25「平成検地」）

・（社）東京建設業協会・施工技術者講習会：（社）東京建設業協会からの委託・講師派遣、積極的にテーマ等の提案を行う。参加者は80名から100名程度。

・建築スキルアップセミナー：中堅ゼネコン（日建経会員）の施工技術者教育、建築施工基礎知識、管理知識の習得

・サーツシンポジウム・討論会：話題テーマによる講演・パネルディスカッション、「厳しい環境の中の建築技術伝承」「建築の適正寿命を考える」等

・イブニングセミナー：実務に役立つ性能時代の構造基礎技術・建築技術、構造基礎技術・建築技術テーマによる中堅技術者教育

○技術支援事業

・技術相談：設計・施工技術者及び建築主、集合住宅居住者等幅広い分野を対象とする建築技術相談に対応、設計者・施工者の技術的諸問題、マンション管理組合支援事業対応など

・コンサルタント及び関連実務事業：新築・改修計画、工事監理、建物調査・耐震診断、技術相談との連携

・講師派遣等：社員教育、技術者教育等のための講師派遣など、主として中小ゼネコン等を対象とする

・ビデオ・テキスト制作協力等：日建学院の一級建築士受験テキスト作成・見直し等への協力、計画、環境・設備、法規、構造、施工

○その他

・技術リフレッシュ見学会：建設会社等技術研究所、建築作業所などの見学、2月東京工業大学耐震改修現場見学

2) 集合住宅部会

○教育普及事業

・マンションに関する各種講演会について継続技術協力

○技術支援事業

・マンション管理組合事業について継続的に協力する

○研究事業

・建築病理学研究を継続する（構築されたナレッジベースデータの新たな追加や検証などの補完を行う）

3) 戸建住宅部会・住宅技術部

長期にわたる景気の低迷に伴い住宅各社の研修費等も削減され、サーツセミナーも時代の訴求性が高いテーマ即ち地盤・基礎・木構造の基礎的知識・省エネに絞って重点的に実施をすることとした。

尚、今期より交流の深い関係にある住宅産業塾とのコラボレーションによる当該会員に対する緊急性の高い基礎的な技術のセミナーを実施する予定である。

当部会が3年前から取り組んでいるタウンハウスの耐久性調査は、国交省の補助金により東西の調査を完了することが出来たので、今年度はこの成果に基づき今まで系統的に行われていなかったタウンハウスの長期耐久性を確保する観点から、各管理組合の長期補修計画の策定に資する適切且つ具体的な補修方法のマニュアル化を提案し総仕上げをしたいと考えている。これに伴い、管理組合に対する具体的なリノベーションに関する支援を行ってゆく所存である。

国の補助事業に係わるものは、NPOの役割として適切なテーマについては積極的に取り組んでゆきたい。また、新しい時代に当面し困難を感じているホームビルダーの支援に注力し、講師派遣等の機会を開拓して参りたい

○教育普及事業

・「ホームビルダー住宅実務セミナー」を継続開催する。
・住宅産業塾との提携による「住宅技術セミナー」を企画し開催する。

○技術支援事業

・住宅情報企業へのセミナー企画提案
・専門学校、地域建設団体等への講師派遣
・木造住宅合理化システム普及協会技術サポート
・一般社団法人山口建設産業協会技術サポート
・タウンハウス改修コンサルタント

○情報発信事業

・専門誌、業界紙、業界団体、学校等への出稿

○調査研究事業

・200年住まい・まちづくり担い手支援事業「タウンハウス調査及び改修方策研究」
・マンション等安心居住推進事業「タウンハウス改修計画策定のための詳細調査」
・その他、公的機関委託研究調査

4) マンション管理組合支援事業部

○マンション管理組合支援事業

景気が低迷する中で、将来にわたってマンションの有効性を保つため、一層効率のよい大規模修繕を勧めること、築年数の古いマンションを耐震改修により安全な建物とすることの重要性が急速に高まっている。事業部として今年度は一層の事業経費の削減を図るとともに、先導的耐震化モデル事業の完成等の活動を通じてPSATSのマンション管理組合支援事業部の評価及び認知度を高めることに注力する。

また、大規模修繕その他、マンションの価値管理に支障となる管理組合内部の問題の解決も支援して、全体的な業務の効率化を目指す。

基本的な活動については、従来通り第三者の公正な

視点で建物の維持管理、および資産価値の向上について所属するスタッフの経験や知識を全面的に活用し、建物診断・設備診断その他大規模修繕に関わる支援を行う。

○ 広報活動

マンション管理組合や賃貸マンションのオーナーを対象にした「日経住まいのリフォーム博」等のイベント、先導的耐震化モデル事業の見学会、あるいは「PSATS REORT」の配布を通じて広報活動を行う。

○ 研究会の開催

日進月歩する技術・工法・材料等についての知識を広め、採用する場合の効果や問題点について十分な理解と認識をもってマンション管理組合を支援するため、随時、研究会を開催する。

5) 自主研究部会

○ 歴史的建築研究会

見学会・勉強会を開催し伝統技術を集成するとともに、歴史的な建築物や街並みの保全について研究する。

○ LLB 技術研究会

ロングライフに寄与する良質な設備の開発を促進するために「設備開発物語」の編集を継続する。

○ 新分野進出研究会

「建設トップランナーフォーラム」は、当初の予定通り3年間の活動を終え、今後「建設トップランナー倶楽部」として、メール配信やホームページによる情報提供、交流会の開催など、従来の活動の一部を負担の少ない範囲で実施し、建設業の新分野進出・展開に継続して寄与する。

また、建設業の緊急雇用対策として、「平成検地」を提言し、国の施策として取り組みが促進されるよう活動する。

*平成検地：地籍調査や境界確認は、これまで各省が個別に取り組んできたが、進捗率48%（平成20年度末）に留まっている。このため、全国の至る所で「地籍や境界が不備なために、土地の適正利用や森林の集約化が進まない」という深刻な問題が発生している。また、国土危険個所の把握も不十分で、全国52か所のがけ崩れ危険地の調査は進捗率30%（平成20年度末）であり、トンネルや橋梁については危険個所だけでなく位置も十分把握されていない状況である。「平成検地」は、将来の効率的な国土管理に必要な事業であり、建設業の緊急雇用対策としても迅速な取り組みが必須の状況にある。

6) 広報委員会

○サーズ会報の発行 年4回

7) 情報発信事業（各部共通）

・月刊誌「建築技術」連載 エッセイ：「わたしの技術 伝承ノート」

・(株)建築資料研究社「コラム」の執筆

8) その他活動計画

・見学・研修：会員の技術リフレッシュ、知見チャージを目的とする見学会・研修会・勉強会・親睦会を必要に応じて随時催行する。

第3号議案

定款の一部変更

現行の特定非営利活動法人建築技術支援協会の定款第16条に定める役員の任期を明確なものとするため該当条文を下記の通り変更したい。

現行：第16条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

変更案：第16条 役員の任期は、2年後の通常総会までとする。ただし、再任を妨げない。

※理由：通常総会は、毎年同一日開催とは限らないため、登記上の不具合を指摘されていた。この点を是正したい。

平成22年度 役員・部会長・委員長等名簿

代表理事 和田 章（所轄庁届出代表者）

同 松村秀一（経理統括責任者）

常務理事 太田統士

同 小藤捷吾

理事 阿部市郎 米田雅子 安部重孝

泉 清之 福本雅嗣 中村正實

向野元昭 伊藤誠三 野嶋 治

監事 大野隆司 宮崎吉英

○顧問 田中義幸（公認会計士）

○相談役 阿部市郎 米田雅子

○委員長・部会長名簿

企画運営委員会 委員長 太田統士

組織規定委員会 委員長 泉 清之

会員審査委員会 委員長 同 上

建築部会 部会長 安部重孝

集合住宅部会 部会長 松村秀一

戸建住宅部会 部会長 阿部市郎

住宅技術部 部長 福本雅嗣

マンション管理組合支援事業部 事業部長 中村正實

会報編集委員会 委員長 伊藤誠三

○事務局長 野嶋 治

2-1 事業活動記録

事業名	事業活動内容等	実施	担当部会	実施場所	受益対象者			
					対象	人数		
教育普及	ホームビルダー住宅実務セミナー (建築士会継続能力開発(CPD)プログラム認定講座)	7.耐震・制震・免震の特徴と選択	1月15日	戸建住宅部会	住宅金融普及協会会議室	工務店等の住宅技術者	13人	
		8.健康で安全な住宅の計画はどのようにしたらよいか	2月18日				11人	
		9.住宅のリフォームにどう取り組むか	3月19日				6人	
		10.木構造の基本を理解して、実務に生かす	4月2日				7人	
		1.「住宅地盤・基礎技術講座」-1 工務店で出来る地盤調査	9月3日				23人	
		2.「木造住宅・構造講座」-1 軸組工法のチェックポイント	9月15日				10人	
		3.「住宅地盤・基礎技術講座」-2 長寿命住宅における地盤の重要性	10月22日				11人	
		4.「省エネ・低炭素社会対応住宅講座」-1 省エネ法改正の要点 エネルギー設備各社の新技術商品	11月5日				10人	
		5.「住宅地盤・基礎技術講座」-3 住宅基礎の計画と設計	11月17日				19人	
		6.「木造住宅・構造講座」-2 ツーバイフォー工法のチェックポイント	12月3日				7人	
住宅の計画(プランニング)セミナー(同上)	5.インテリア計画: 照明、色彩、アクセント	1月16日	7人					
	6.実習作品の講評/設計実務の留意とポイント	2月20日	3人					
住宅の地盤及び基礎の考え方:調査・計画・設計セミナー	4.住宅地下室のつくり方	1月22日	7人					
	5.色々ある沈下障害とその修復	2月12日	9人					
教育普及	新寺子屋サークル	1.建築再生の時代 200年住宅	4月15日	建築部会	サークル事務所	一般建築技術者	44名	
		2.耐震改修技術の動向: 実例及びビジュアルの立場から	5月15日				15名	
		3.RFID(電子タグ)の建築への応用	6月24日				15名	
		4.五重塔の原理を応用した11階・9階建校舎の耐震改修	9月25日				23名	
		5.建設業と林業の連携で森林再生	10月28日				23名	
		6.集合住宅に対する耐震改修工法(SPAC工法)	11月16日				19名	
	施工技術講習会	1.施工図	6月16日	建築部会	浜離宮建設プラザ	東京建設業協会	112名	
		2.鉄筋工事、コンクリート工事	11月12日		エンパイアビル	80名弱		
	施工技術研修	1.躯体工事	10月27日	建築部会	浜離宮建設プラザ	中堅ゼネコンスキルアップ	35名	
		2.防水工事	11月10日				42名	
3.ひび割れ問題		11月24日	34名					
4.品質管理		12月2日	32名					
技術支援	技術支援	不特定の技術者・会社に対する技術相談	随時	～	～	～		
		国土交通省・基本制度部会 専門委員(建築基準法・建築士法改正審議)	随時	～	～	～		
		某分譲住宅の建替か再生かを判断するための調査	6月～9月	集合住宅部会	～	～	100戸	
		マンション再生の方針決定のポイント	11月7日	～	NPOマンション再生ナビ	～		
		立川市新庁舎建設事業における施工監理(立川市市政アドバイザー-業務)	～3月31日	～	立川市	～		
		住宅産業塾設計研修	4月18日	～	～	日菱企画(株)	10名	
		研修事業等の技術支援	4月～	戸建住宅部会	木造住宅合理化システム普及協会	～	～	
		地域・木造住宅市場活性化事業応募への技術支援	12月～	～	山口県建設産業協会	山口県建設産業協会会員	～	
		マンション管理組合支援事業	セザール九十九里浜(工事監理)ライオンズガーデン田無本町(建物診断その他)ヘルス経営(大規模修繕)レジェンド南大泉(建物診断～業者選定補助)	随時	マンション管理組合支援事業部	～	マンション管理組合	～
			ピラカーサお花茶屋(長期修繕計画)パークフローレンス三ノ輪(長期修繕計画他)パークサイド平塚(先導的耐震化モデル事業)ほか	随時	～	～	～	～
日経住まいのリフォーム博2009(第5回)	11月20～23日		～	東京ビッグサイト	一般	多数		
司法支援	建築紛争に関わる司法支援	随時	～	～	随時	～		
資格試験 関連	一級建築士学科試験即日回答	7月26日	～	～	日建学院	多数		
情報発信	専門誌、報道、会報等	建築技術	連載「わたしの建築放浪記」	1～7月号	～	購読者	多数	
			連載「わたしの技術伝承ノート」	8～12月号	～	購読者	多数	
			サークルニュース	1～12月号	～	購読者	多数	
		建築設備	座談会記録「ストックビルの活用とリノベーション建築」	2010.2月	～	購読者	多数	
		建築資料研究社	コラム	随時	～	日建学院会員	多数	
		住宅産業新聞	「サークル技術講座・住宅をつくる」連載	～7月	～	購読者	多数	
		会報	特集、活動状況報告等	季刊	～	～	会員	300部
ホームページ	協会の活動状況、各種スケジュールの周知など	随時	～	http://www.psats.or.jp	公開	多数		
調査研究	受託研究	「建築病理学」を形成する基礎的な知識体系の構築	～3月	集合住宅部会	～	～	～	
		既存住宅の部位別故障事例の分類と発生原因の調査	1月～3月	～	～	～		
		東京圏におけるツーバイフォー工法によるマンション団地の実態調査(国土交通省補助金事業「2009年住まい・まちづくり担い手事業」のうち)	～3月	～	(財)住宅生産振興財団	～	～	
		木造住宅の品質確保に対する供給者の意識調査支援	～3月	～	国土技術政策照会研究所	～	～	
密集市街地の耐震改修推進方策調査支援	～3月	戸建住宅部会	～	日本開発構想研究所	～	～		

調 査 研 究	受託研究	マンション等安心居住推進事業行徳ファミリオ修繕計画 策定のための建物耐久性調査	8月～	宅部会	マンション再生な び	～	～
		マンション等安心居住推進事業ガーデンタウン南桜井修繕計画 策定のための建物耐久性調査	9月～		国土交通省	～	～
		ツーバイフォー・タウンハウス団地における耐久性の現状調査(関西)	7月～		住まい・まちづくり 担い手支援機構	～	～
		林業と建設業の連携による中山間地域の存続・保全方策に関する 調査検討業務	～3月	国交省	～	～	
	新分野 進出研究	建設トップランナーフォーラムin唐津(佐賀県)	2月10日	新分野 進出研 究会	佐賀	建設& 報道機関	約200 名
		第4回建設トップランナーフォーラム ケールズをめざして-For Our Cool Earth 2050- (主催:建設トップランナーフォーラム&日本青年会議所建設部会、事務局:サツ)	7月23・24日		日本建築学会 建築会館	公開	約650 名
		農業に参入した地方建設業の実情と 緊急雇用対策「平成検地」の提案 (主催:建設トップランナーフォーラム&日本青年会議所建設部会、事務局:サツ)	12月15日		東海大学交友会 館(霞ヶ関ビル 36F)	建設関係 ・ 報道機関	～
	見学会	立川市庁舎建設現場	5月18日	建築 部会	立川市		13名
		大成建設技術センター	6月18日		大成技研		15名
		竹中技術研究所	11月27日		竹中技研		14名
勉強会ほか	勉強会 ・省エネルギー基準の解説 ・瑕疵担保と不法行為賠償の違い	10月2日 11月6日	戸建住 宅部会	サツ 事務所	会員	～	
	研修旅行(会津若松)	10月18,19 日		現地		～	
	「設備開発物語」 (衛生、空調、電気設備について機器と システムの第1号を開発した技術者の苦心談)	2010年3月 発行予定	LLB技術 研究会	サツ事務所 市ヶ谷出版社		～	
	勉強会・高層住宅の仮設工法 ・「建築学会の超高層建築の維持管理」 ・「マンション部会のデータベースへの操作方法」 ・「耐震改修・スパック工法」 ・マンション部会のデータベース「quanpの操作方法と内容」	4月21日 5月19日 6月16日 7月22日	マンション管 理組合 支援事 業部	サツ 事務所		～	
	勉強会・話題 ・建築物における安全安心と使用時安全性について(国総研) ・パブリックコメント基準法・土法の一部改正省令案 ・国交省の事業募集・提案などに対する建築部会の対応 ・サツシンポジウム ほか	1回/月	建築 部会			8～12名	